

令和6年度 水道事業会計予算の概要

- 1 業務の予定量及び推移 P2
- 2 収益的収入及び支出の概要 P4
- 3 水道料金並びに分担金及び加入金収入の推移 . . P6
- 4 県水受水費並びに県水及び井水割合の推移 . . . P8
- 5 資本的収入及び支出の概要 P9
- 6 建設改良費の推移 P11
- 7 企業債残高及び対給水収益比率の推移 P12
- 8 主要な建設改良事業等について P13

水安全部 総務課



1 業務の予定量及び推移 ①

(消費税込)

1	給水戸数	69,300戸	(対前年度増減率	+0.6 %)
2	年間総給水量	15,918,210m ³	(対前年度増減率	▲0.8 %)
3	一日平均給水量	43,611m ³	(対前年度増減率	▲0.5 %)
4	主要な建設改良事業	1,061,116千円	(対前年度増減率	+51.3 %)
	① 配水管布設事業	68,038千円	(対前年度増減率	+364.9 %)
	② 浄水場整備事業	500,124千円	(対前年度増減率	+69.7 %)
	③ 配水管改良事業	492,954千円	(対前年度増減率	+25.8 %)



R6.3末見込
142,244人

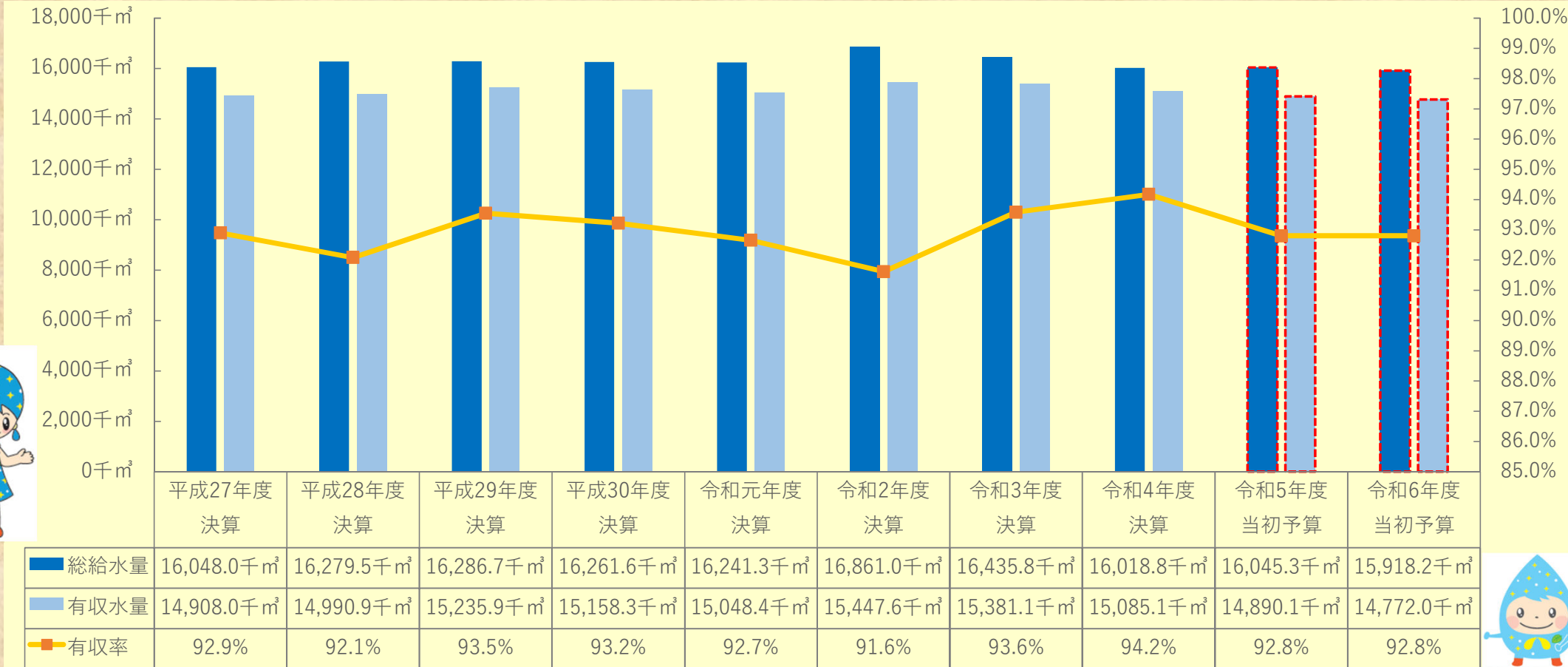
年度		令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 当初予算	前年度当 初予算比	令和6年度 当初予算	前年度当 初予算比
給水	人口	140,645人	140,952人	141,206人	141,927人	142,800人	+0.2%	142,600人	▲0.1%
	戸数	66,180戸	67,183戸	67,776戸	68,663戸	68,900戸	+1.8%	69,300戸	+0.6%
普及率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	±0.0%	100.0%	±0.0%
総給水量		16,241,320m ³	16,861,000m ³	16,435,838m ³	16,018,820m ³	16,045,340m ³	▲4.0%	15,918,210m ³	▲0.8%
有収水量		15,048,390m ³	15,447,615m ³	15,381,123m ³	15,085,053m ³	14,890,076m ³	▲3.4%	14,771,966m ³	▲0.8%
有収率		92.7%	91.6%	93.6%	94.2%	92.8%	+0.7%	92.8%	±0.0%
一日平均給水量		44,375m ³	46,195m ³	45,030m ³	43,887m ³	43,840m ³	▲4.2%	43,611m ³	▲0.5%
一日最大給水量		47,150m ³	48,790m ³	47,620m ³	47,260m ³	48,126m ³	▲1.7%	47,100m ³	▲2.1%

令和6年8月29日 上下水道事業経営審議会【令和6年度 水道事業会計予算】



1 業務の予定量及び推移 ②

●**総給水量** 両水量ともに微減傾向。令和2・3年度は新型コロナ感染拡大による“巣ごもり需要”の影響で一時的に家庭使用量
有収水量 が増加。新年度は、家庭・企業での節水意識の高まり等から減少を想定。有収率は管路更新を踏まえ現状維持。



※有収水量と有収率：給水量のうち、料金徴収の対象となった水量とその割合。料金徴収対象外の水量は、漏水、管洗浄用、消火栓用、メータ不感量等。

令和6年8月29日 上下水道事業経営審議会【令和6年度 水道事業会計予算】



2 収益的収入及び支出の概要 ①

(消費税込 単位：千円)

科目等		年度	令和6年度当初予算額 (A)	令和5年度当初予算額 (B)	対前年度増減額 (A) - (B)	対前年度増減率 (A) / (B)
収益的 収入 支出	収益的収入(a)		2,628,538	2,599,499	29,039	1.1%
	収入	営業収益(給水収益[水道料金])	2,170,393	2,192,133	△ 21,740	-1.0%
		営業収益(その他営業収益[負担金等])	359,245	305,895	53,350	17.4%
		営業外収益(長期前受金戻入等)/特別利益	98,900	101,471	△ 2,571	-2.5%
	収益的支出(b)		2,601,786	2,633,342	△ 31,556	-1.2%
	支出	職員人件費	153,596	150,778	2,818	1.9%
		県水受水費	865,453	872,332	△ 6,879	-0.8%
		委託料	522,617	468,877	53,740	11.5%
		修繕費・動力費・薬品費	146,964	199,999	△ 53,035	-26.5%
		減価償却費・資産減耗費	727,754	739,712	△ 11,958	-1.6%
支払利息		43,470	51,583	△ 8,113	-15.7%	
その他雑支出		141,932	150,061	△ 8,129	-5.4%	
収入及び支出の差額(c) = (a) - (b)		26,752	△ 33,843	60,595	—	

○主な増減理由 【当期純利益/純損失(税抜) = △19,462千円】 ※収入分消費税額が支出分消費税額を超過 ※貸借対照表・CF計算書に表示 ※R5: △72,163千円

- ・収入・・・家庭、企業等使用水量の減少、特に大口使用者の減少が影響。新築家屋等に係る分担金・加入金は増加。
- ・支出・・・漏水修理・量水器交換業務等に係る委託料の増加。光熱水費に係る動力費、その他雑支出(光熱水費)の減少。

※ 減価償却費：現金支出を伴わない支出で、固定資産取得費用の全額を取得年度の費用とせず、耐用年数に応じて配分、各期相当金額を費用として計上するもの。

※ 資産減耗費(固定資産除却費/たな卸資産減耗費)：現金支出を伴わない支出で、固定資産の減失等による除却に際し、未減価償却費を費用として計上するもの等。

令和6年8月29日 上下水道事業経営審議会【令和6年度水道事業会計予算】



2 収益的収入及び支出の概要 ②

(消費税込)



営業収益(給水収益
[水道料金])
21億7,039万3千円

営業収益(その他
営業収益(負担金等))
3億5,924万5千円

営業外収益/
特別利益
9,890万円

収入 26億2,853万8千円

収支差額
2,675万2千円
(税抜: ▲1,946万2千円)



県水受水費
8億6,545万3千円

委託料
5億2,261万7千円

減価償却費・
資産減耗費
7億2,775万4千円

支出 26億178万6千円

職員人件費
1億5,359万6千円

修繕費・動力費等
1億4,696万4千円

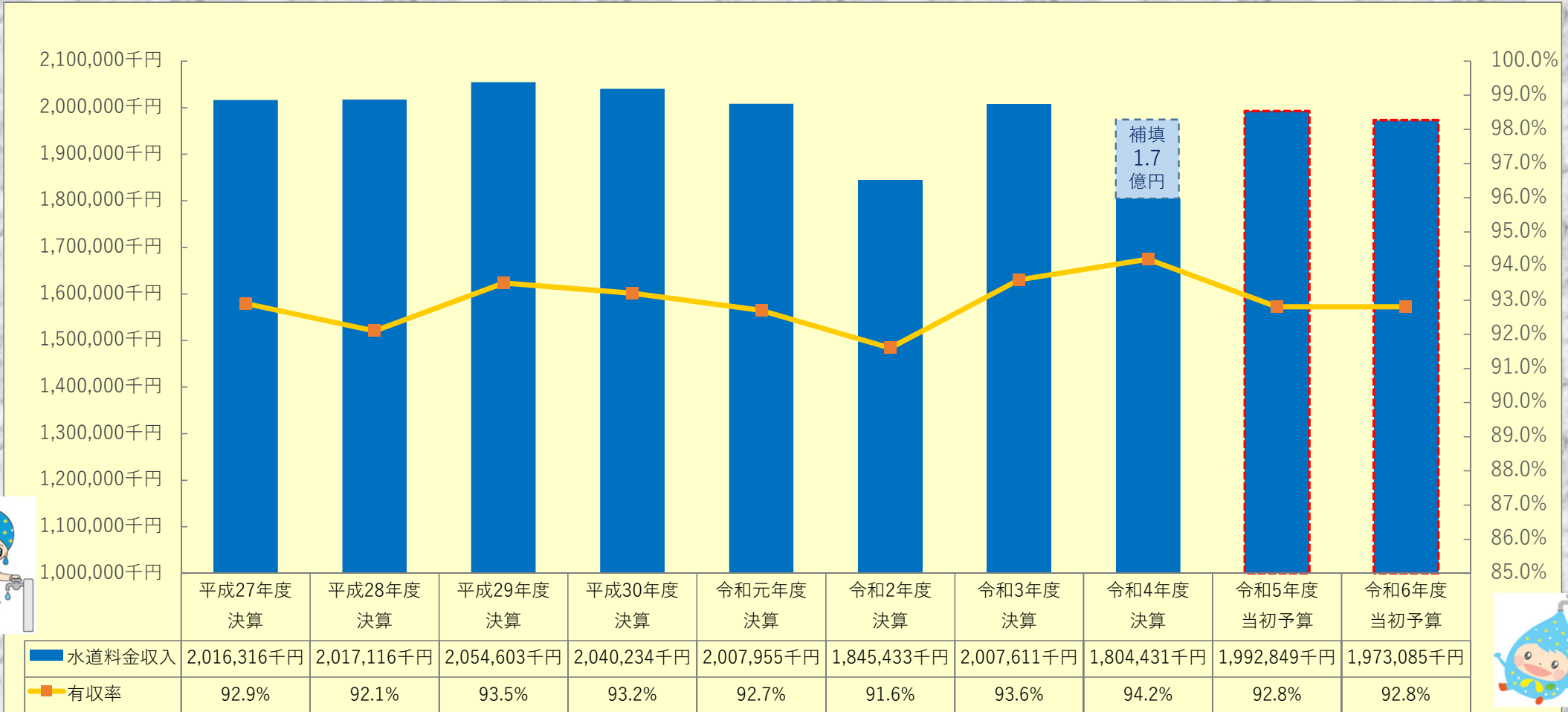
支払利息
4,347万円

その他雑支出
1億4,193万2千円

3 水道料金並びに分担金及び加入金収入の推移①

(消費税抜)
※決算値が税抜表記のため

○水道料金 平成30年度以降、節水機器の普及、従量料金負担の高い大口利用者の使用水量減少等により減額傾向。令和2・4年度は基本料金の減免に伴い減収。新年度も減少傾向を見込み前年度比で微減を想定。有収率は前年度比と同率を見込む。

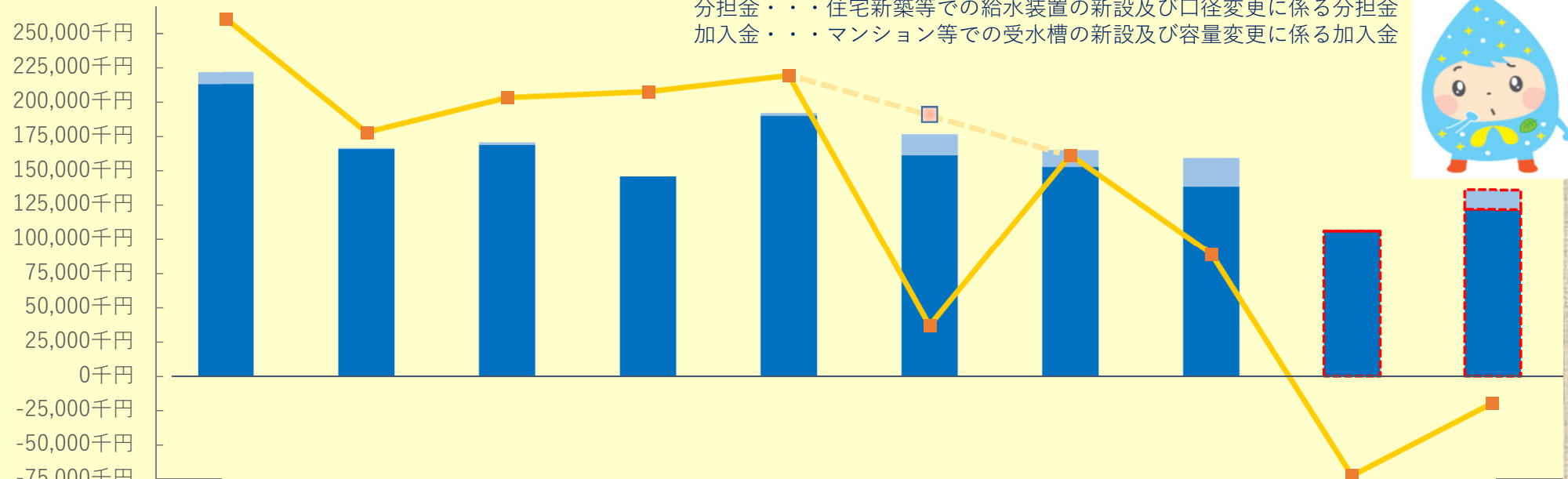


3 水道料金並びに分担金及び加入金収入の推移 ②

(消費税抜)
※純利益/損失が税抜表記のため

●**分担金** 工場や倉庫跡地における戸建・集合住宅の建築等に伴い発生する収入で、近年は純利益の全部を占める。新年度は、
●**加入金** マンション開発件数の増加等から前年度比増を見込むが、令和元年度以降減少傾向。 ※純利益：R2基本料減免により減少

分担金・・・住宅新築等での給水装置の新設及び口径変更に係る分担金
加入金・・・マンション等での受水槽の新設及び容量変更に係る加入金

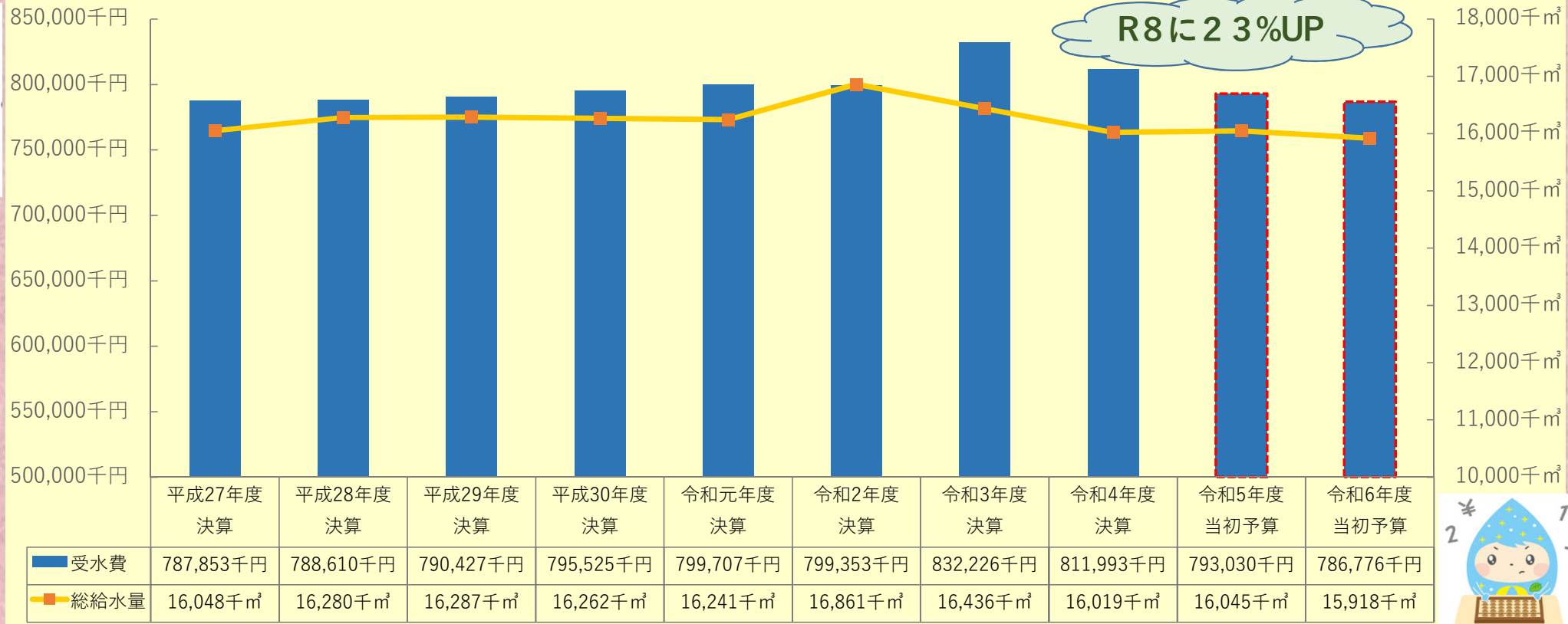


	平成27年度 決算	平成28年度 決算	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 当初予算	令和6年度 当初予算
加入金収入	8,620千円	660千円	1,760千円	0千円	1,920千円	15,520千円	12,320千円	20,800千円	160千円	14,400千円
分担金収入	213,100千円	165,600千円	168,680千円	145,700千円	189,940千円	160,916千円	152,500千円	138,220千円	105,660千円	121,580千円
合計	221,720千円	166,260千円	170,440千円	145,700千円	191,860千円	176,436千円	164,820千円	159,020千円	105,820千円	135,980千円
純利益/損失	260,829千円	177,870千円	203,157千円	207,443千円	219,154千円	36,654千円	161,152千円	89,112千円	-72,163千円	-19,462千円

4 県水受水費並びに県水及び井水割合の推移

(消費税抜)
※決算値が税抜表記のため

○ 県水受水費は、埼玉県企業局から供給を受ける用水の受水に要する費用で1 m³あたりの受水単価は61円78銭(H11～)。予算編成時には県水：井水の割合を80：20で算定することから、総給水量が前年度比で減少することに伴い受水費の減額を想定。



県水：井水 の割合	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05(予算)	R06(予算)
	79.5 : 20.5	78.4 : 21.6	78.6 : 21.4	79.2 : 20.8	79.7 : 20.3	76.7 : 23.3	82.0 : 18.0	82.0 : 18.0	80.0 : 20.0	80.0 : 20.0

5 資本的収入及び支出の概要 ①

(消費税込 単位：千円)

科目等		年度	令和6年度当初予算額 (A)	令和5年度当初予算額 (B)	対前年度増減額 (A) - (B)	対前年度増減率 (A) / (B)
資本的 収入 支出	資本的収入(a)		222,989	291,542	△ 68,553	-23.5%
	収入	企業債	83,000	192,137	△ 109,137	-56.8%
		固定資産売却代金	257	4	253	6325.0%
		他会計負担金(消火栓整備等)	38,088	25,446	12,642	49.7%
		工事負担金(区画整理事業等)	101,644	73,955	27,689	37.4%
	資本的支出(b)		1,471,059	1,097,897	373,162	34.0%
	支出	建設改良費	1,106,233	738,672	367,561	49.8%
		企業債償還金	354,826	349,225	5,601	1.6%
		予備費	10,000	10,000	0	0.0%
	資本的収支不足額 (c) = (a) - (b)		△ 1,248,070	△ 806,355	△ 441,715	-

※ 収入が支出に対して不足する額は損益勘定留保資金、消費税資本的収支調整額、建設改良積立金(積立額の26%)で補填。

○主な増減理由

収入・・・企業債対象工事の精査に伴う企業債の減少。他事業工事に係る負担金の増額。
 支出・・・配水管布設・更新、浄水施設更新工事等の増に伴う建設改良費の増加。

耐震化率[令和6年度末見込]
53.30% (+0.23%)

5 資本的収入及び支出の概要 ②

(消費税込)



資本的収支の収入が支出に対し不足するため、**建設改良積立金**のほか、収益的収支からの損益勘定留保資金(減価償却費や資産減耗費などの現金支出を必要としない費用の計上により留保される資金)等で補てん。



6 建設改良費の推移

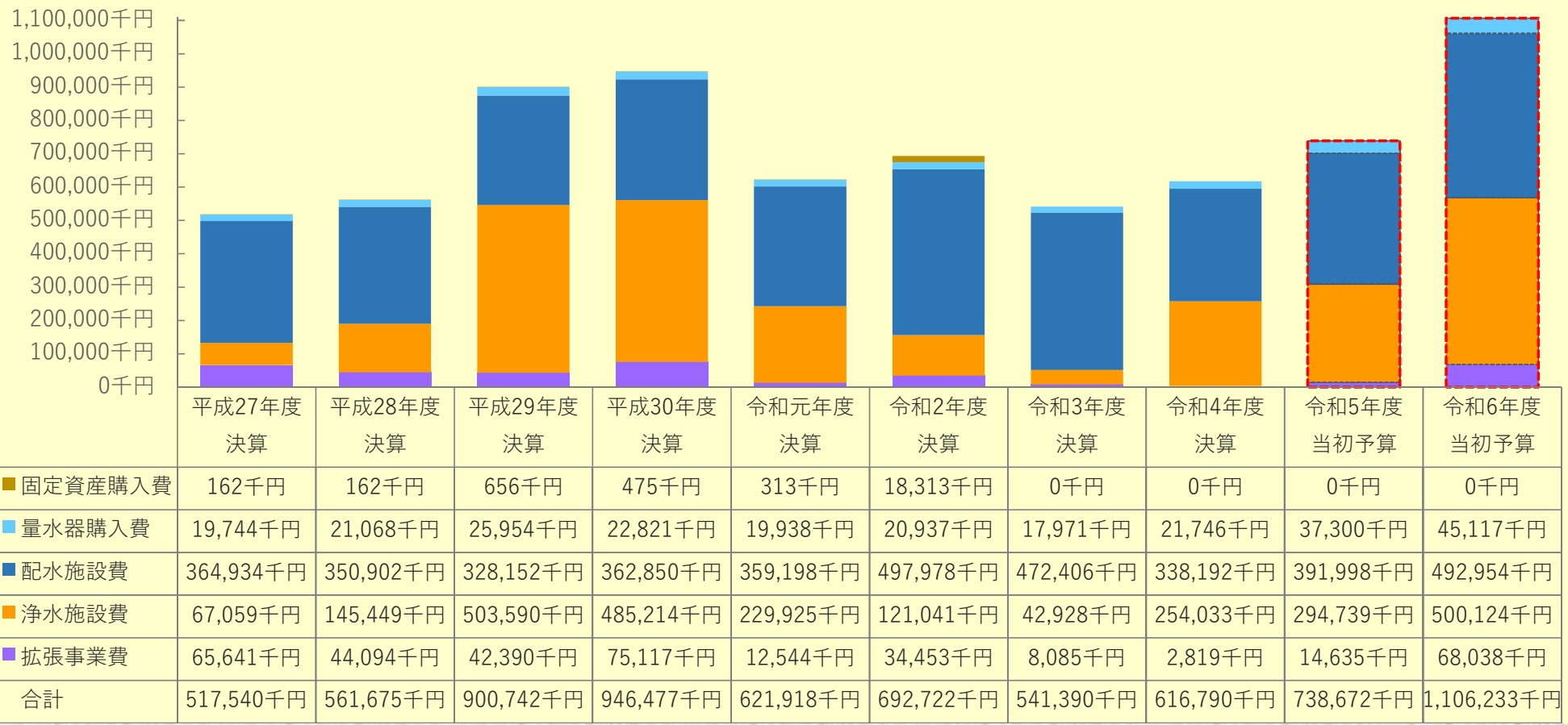
(消費税込)

- 「拡張事業費」：土地区画整理事業に伴う配水管の布設等に係る費用
- 「浄水施設費」：浄水場施設及び取水井の機能維持・改修等に係る費用
- 「配水施設費」：基幹管路及び老朽管の耐震化に係る費用

- 「量水器購入費」：量水器(水道メーター)の購入に係る費用
- 「固定資産購入費」：土地、車両、工具器具等の固定資産の購入に係る費用

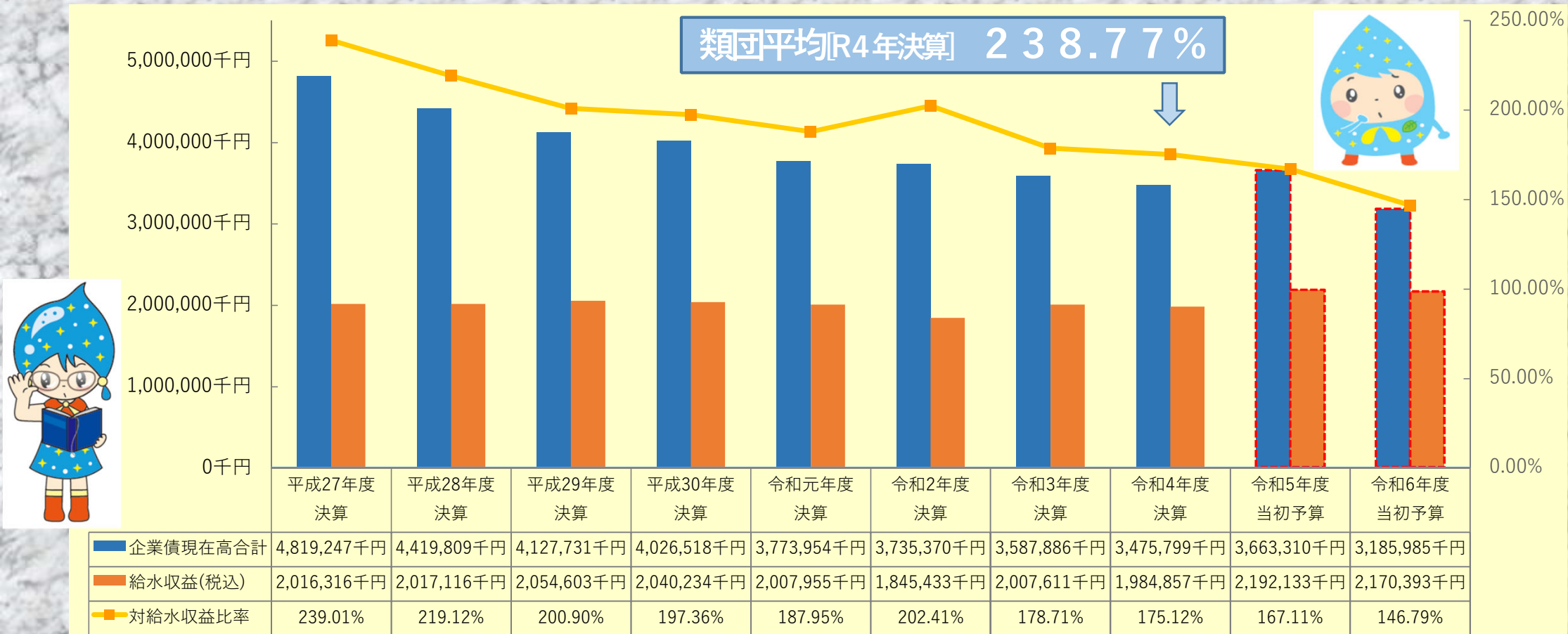


※ 決算値：
繰越額含



7 企業債残高及び企業債残高対給水収益比率の推移

(企業債：非課税費目)



類団平均[R4年決算] 238.77%



※企業債残高対給水収益比率・・・給水収益に対する企業債残高(企業債現在高合計)の割合で、企業債残高の規模を表す指標、将来的な財政負担の状況を示す。なお、必要な管路・施設等更新の先送りなどにより企業債残高が、少額になっている場合も低下。 *令和4年度戸田市管路更新率：0.28%(類団平均：0.60%)

8 主要な建設改良事業等について① 【水道施設課(浄水施設費)】

令和5年度 西部浄水場更新事業 基本設計業務



予算額： 49,258千円
【財源内訳】
自己資金： 49,258千円(100%)

【概要】
西部浄水場内に設置されているRC配水池(昭和38~39年竣工)、管理棟及び鋼製配水池(昭和48~49年竣工)、並びに場内配管及び配水設備等を更新するための基本設計業務の委託。

【予算概要】
令和5・6年度の2カ年度事業として
令和5年度予算で債務負担行為を設定
事業費総額：**49,258千円**
※ 委託料の支出は、業務完了後の令和6年度一括払のため、令和5年度予算は実予算計上のない“ゼロ債務”。

令和2年度に実施した西部・東部浄水場配水池更新検討業務の検討結果に基づき、配水池の容量や施設配置、配管計画の検討を行い、工事区分や工事手順を決定したうえで、基本設計図書を作成する。
※設計・施工分離発注方式で実施



【関連事項】
契約業者：株式会社 エフウォーターマネジメント
埼玉事務所
契約期間：R5.6.9~R7.2.28
契約金額：38,115千円

8 主要な建設改良事業等について②

【水道施設課(浄水施設費)】

令和6年度 東部浄水場 電気・機械設備更新工事詳細設計業務

予算額： 35,541千円

【財源内訳】

自己資金： 35,541千円(100%)

【概要】

令和5年度 東部・中部浄水場更新事業検討業務において、東部浄水場に中部浄水場の機能を集約することとし、その場合の課題を整理して、解決策及び整備スケジュールの策定が行われたことから、当該整備スケジュールに基づき、東部浄水場において必要となる電気・機械設備に係る更新工事について、実施に向けた詳細設計の委託。

【設計説明】

- ・設計協議 一式
- ・現地調査 一式
- ・既存資料収集・整理 一式
- ・電気設備の設計 一式
- ・機械設備の設計 一式



8 主要な建設改良事業等について③ 【水道施設課(浄水施設費)】

令和5年度 西部浄水場2号・3号配水ポンプ オーバーホール及び西部・中部浄水場 VVVF盤更新等工事

【概要】

西部浄水場2号・3号配水ポンプについては、前回の分解整備からそれぞれ26年・11年が経過していることを踏まえ、分解整備による機能回復工事を実施。

また、西部浄水場4号配水ポンプ及び中部浄水場1号・2号配水ポンプの制御を行うVVVF盤について、設置から14年が経過していることから更新工事を実施。

併せて、設置して31年が経過している中部浄水場の1号・3号配水ポンプ吐出弁及び井水取水量計についても更新等工事を実施。

※ 機器の製作に12カ月を要するため、
2カ年度の継続費を設定。



予算額：162,833千円

【財源内訳】

自己資金：162,833千円(100%)

【予算概要】

令和5・6年度の2カ年度事業として
令和5年度予算で継続費を設定

事業費総額：**208,483千円**

【内訳】 R5：45,650千円

R6：162,833千円



【関連事項】

契約業者：昱株式会社
北関東支店

契約期間：R5.7.25～R7.3.14

契約金額：180,400千円

【内訳】 R5：40,580千円

R6：139,820千円

8 主要な建設改良事業等について④ 【水道施設課(浄水施設費)】

令和6年度 西部・中部浄水場無停電電源装置及び直流電源装置更新等工事

【概要】

令和6・7年度に西部浄水場の無停電電源装置及び緊急遮断弁制御用直流電源装置の更新、並びに中部浄水場の無停電電源装置／直流電源装置の更新を行う。
また、西部浄水場ポンプ室に空調設備の設置を行う。

《令和6年度工事》

- ・中部浄水場：無停電電源装置／直流電源装置の更新
- ・西部浄水場：ポンプ室への空調設備の設置



【設計説明】

- ・西部浄水場無停電電源装置更新 1面
- ・西部浄水場緊急遮断弁制御用直流電源装置更新 1面
- ・中部浄水場無停電電源装置／直流電源装置更新 1面
- ・西部浄水場ポンプ室空調機設置 2基



予算額： 31,387千円

【財源内訳】

自己資金： 12,487千円(40%)
企業債： 18,900千円(60%)

【予算概要】

令和6・7年度の2カ年度事業として
令和6年度予算で継続費を設定

事業費総額： **158,444千円**

【内訳】 R6： 31,387千円
R7： 127,057千円

8 主要な建設改良事業等について⑤ 【水道施設課(浄水施設費)】

令和6年度 東部浄水場管理棟(東側・北側) 外壁塗装工事

【概要】
平成8年度に建築された東部浄水場管理棟の外壁(東側・北側)が老朽化しているため、改修工事を実施。

※令和5年度実施の外壁塗料材調査でアスベストの含有が判明、除去作業対応工事

- 【設計説明】
- ・ 塗装工事 一式
 - ・ アスベスト除去工事 一式

予算額： 99,462千円

【財源内訳】

自己資金： 99,462千円(100%)



令和6年度 東部浄水場管理棟(西側・南側) 外壁塗装及び屋上防水改修工事

【概要】
平成8年度に建築された東部浄水場管理棟の外壁(西側・南側)及び屋上防水が老朽化しているため、改修工事を実施。

※令和5年度実施の外壁塗料材調査でアスベストの含有が判明、除去作業対応工事

- 【設計説明】
- ・ 防水工事 一式
 - ・ 塗装工事 一式
 - ・ アスベスト除去工事 一式

予算額： 113,498千円

【財源内訳】

自己資金： 113,498千円(100%)



8 主要な建設改良事業等について⑥

【水道施設課(配水施設費)】

令和6年度配水管更新設計業務

【概要】

老朽化した配水管を更新するために必要となる設計図書(図面、数量計算書等)を作成するために実施する。1工区100m程度とし、20工区2,000m分の設計を行うもので、設計を行う箇所は、現在実施中の令和5年度水道管路更新計画策定業務において、優先順位の高い路線を選定する。

【設計説明】

- ・配水管更新設計
 - 設計延長 2,000m(20工区)
 - 試掘立合い 100箇所



予算額： 40,258千円

【財源内訳】

自己資金： 40,258千円(100%)



令和6年度配水管更新設計業務に伴う試掘調査業務

【概要】

令和6年度に実施する配水管更新設計業務に伴い実施する試験掘り調査で、本管設計上重要となる箇所やその埋設位置によっては配管の変更を必要とする他企業埋設物の位置確認を行うため、20mに1箇所行う。

【設計説明】

- ・試掘工
 - 土工(1箇所/20m) 100箇所
 - 舗装復旧工 100.0m²



予算額： 23,996千円

【財源内訳】

自己資金： 23,996千円(100%)

8 主要な建設改良事業等について⑦ 【水道施設課(配水施設費)】

令和6年度 工業用水消火栓撤去新設工事

【概要】

埼玉県工業用水に設置してある戸田市（消防所管）所有の消火栓を撤去し、戸田市の配水管に新設する工事。例年4箇所実施していたが、最終年度となる令和6年度は5箇所実施。

所管する戸田市消防本部警防課との協議及び埼玉県大久保浄水場との協議を行い実施。

【設計説明】

- ・消火栓新設工 5.0箇所
- ・消火栓撤去工 5.0箇所



予算額： 26,961千円

【財源内訳】

工事負担金：26,961千円(100%)



下水道事業に伴う配水管布設替え

No.3 工事

【概要】

下水道事業に支障となる配水管の布設替え。西電話局通りは通学路で、一般車の交通量も多く、バス路線でもあるため、安全対策に万全を期す。

【設計説明】

- ・工事延長 40m
- ・铸铁管工(GX形第1種φ100、φ200) L= 40m



予算額： 38,839千円

【財源内訳】

工事負担金：38,839千円(100%)



8 主要な建設改良事業等について⑧ 【水道施設課(配水施設費)】

北戸田駅西口駅前交通広場整備工事に伴う配水管布設替え工事

【概要】

新曽第一土地区画整理事業の北戸田駅西口駅前交通広場整備工事に伴って実施する、配水管布設替え工事。駅前交通広場の現在の道路部分に埋設された配水管を将来の道路部分に布設替え。

【設計説明】

- ・工事延長 70m
- ・铸铁管工(GX形第1種φ150) L= 70m



予算額： 27,256千円

【財源内訳】

工事負担金：27,256千円(100%)



令和6年度配水管更新No.1工事

【概要】

老朽化配水管路の耐震化工事。美笹中学校通学路のため安全対策に万全を期すとともに、公園利用者への案内を適切に行い実施。
※下半期に隣接工区工事(No.3)を実施

【設計説明】

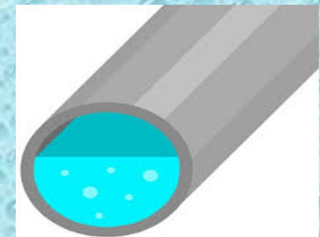
- ・工事延長 124.5m
- ・铸铁管工(GX形第1種φ300) L= 124.5
- ・制水弁工(GX形ソフトシール弁φ300) 2基
- ・仮配水管工 一式
- ・舗装復旧工 423.8㎡



予算額： 62,863千円

【財源内訳】

自己資金：62,863千円(100%)



令和6年8月29日 上下水道事業経営審議会【令和6年度水道事業会計予算】

8 主要な建設改良事業等について⑨ 【水道施設課(配水施設費)】

令和6年度配水管更新No.2工事

【概要】

老朽化配水管路の耐震化工事。笹目中学校、南陵高校がある路線で、安全対策に万全を期す。笹目中学校の耐震性貯水槽への接続替えもあることから各方面の協議を密に行い実施。

【設計説明】

- ・ 工事延長 171.0m
- ・ 鋳鉄管工(GX形第1種φ200) L= 154.8m
- ・ 鋳鉄管工(GX形第1種φ100) L= 16.2m



予算額： 75,819千円

【財源内訳】

自己資金： 75,819千円(100%)



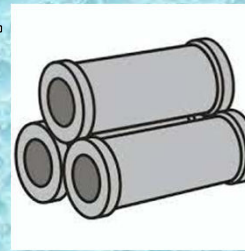
令和6年度配水管更新No.3工事

【概要】

老朽化配水管路の耐震化工事。美笹中学校通学路のため安全対策に万全を期すとともに、公園利用者への案内を適切に行い実施。

【設計説明】

- ・ 工事延長 169.1m
- ・ 鋳鉄管工(GX形第1種φ300) L= 150.8m
- ・ 鋳鉄管工(GX形第1種φ150) L= 11.6m
- ・ 鋳鉄管工(GX形第1種φ100) L= 6.7m
- ・ 仮配水管工 一式
- ・ 制水弁工(GX形ソフトシール弁φ300) 4基
- ・ 制水弁工(GX形ソフトシール弁φ150) 1基
- ・ 制水弁工(GX形ソフトシール弁φ100) 1基
- ・ 給水管工 5箇所
- ・ 舗装復旧工 679.4㎡



予算額： 91,663千円

【財源内訳】

自己資金： 91,663千円(100%)



8 主要な建設改良事業等について⑩

【総務課(総係費)】

戸田市上下水道ビジョン等策定業務



【概要】

国県の水道ビジョン等の策定を受け、料金改定や新たな補助金獲得をはじめとした効率的な事業運営を図るため、新たな上下水道ビジョン、事業経営戦略等を策定する。

《策定計画等》

① 上下水道ビジョン (計画期間：10年)

現行「下水道ビジョン」の計画期間の終了に合わせ、「水道ビジョン」(令和7年度は中期経営計画で補完可能)と統合し、令和8年度を始期とする。

- ・水道ビジョン → 平成27～令和6年度(委託料：33,359千円 ※中期経営計画、アセットマネジメント含む)
- ・下水道ビジョン → 平成28～令和7年度(委託料：29,160千円 ※経営計画、中・長期事業計画等含む)

② (仮称)上下水道事業経営戦略 (計画期間：10年)

水道事業中期経営計画、下水道事業経営計画、下水道事業 中・長期事業計画を統合し、令和8年度を始期とする。



③ (仮称)水道事業アセットマネジメント計画 (計画期間：40年)

アセットマネジメントに係る基本計画の策定。

※下水道事業は、現行のストックマネジメント基本計画(R2～R32年度)で管理

【業務スケジュール】

令和6年度・・・ 部内プロジェクトチーム検討会議、業者選定・委託契約締結、関連計画の見直し及び策定業務の実施

令和7年度・・・ パブリック・コメント、ビジョン及び経営戦略等の策定、ビジョンに基づいた事業運営・事業評価の実施

予算額： 0千円

【財源内訳】

自己資金： 0千円(100%)

【予算概要】

令和6・7年度の2カ年度事業として
令和6年度予算で債務負担行為を設定

事業費総額： **66,440千円**

※ 委託料の支出は、業務完了後の令和7年度一括払のため、令和6年度予算に実予算計上のない“ゼロ債務”。



令和6年8月29日 上下水道事業経営審議会【令和6年度 水道事業会計予算】